



手話コーラス「世界にひとつだけの花」を披露
2004年 9月 5日(日) 県立ろう話学校にて

練習を通して受講生同士の仲間意識が育ち、また、会場に集まった多くの関係者、聴覚障害者を目にして、手話によるコミュニケーションの大切さを肌で感じる事が出来ました。要約筆記通訳現場、盲ろう通訳現場を

6月2日に開講した手話基礎講座の第2回実地学習として、講座生が手話コーラスゲーム、お店と3つのグループに分かれ手話ふれあいフェスティバルに参加しました。この講座は、「相手の手話が理解でき、特定の聴覚障害者とならば、手話で日常会話が可能レベル」を到達目標とし、実地学習では「①手話の基本文法を応用練習することにより、表現能力、及び読み取り能力のレベルアップを図る。②聴覚障害者との手話による会話を通じ実践的なコミュニケーション能力を習得する。③聴覚障害者団体や手話活動団体の取り組みに学ぶ。」の学習目標の基、総合演習として参加しました。フェスティバル参加に向けて、打合せ・練習を通して受講生同士の仲間意識が育ち、また、会場に集まった多くの関係者、聴覚障害者を目にして、手話によるコミュニケーションの大切さを肌で感じる事が出来ました。要約筆記通訳現場、盲ろう通訳現場を

手話ふれあいフェスティバルで発表

滋賀県立
聴覚障害者センター
だより

第34号

発行日/平成16年10月30日
発行所/草津市大路2丁目11-33
TEL 077-561-6111
077-561-6133
FAX 077-561-6112
077-565-6101
E-mail: shigajou@eos.ocn.ne.jp

初めて見る人もいました。そして、もっと手話を習得したいとの学習意欲にもつながりました。また、第3回の実地学習へ向けての自信につながった人もいました。日程調整等大変な面もありましたが、机上の学習では得られない多くの体験ができたのではないのでしょうか。受講生の声

- ・「手話を勉強しいろいろな経験をすることで、私の中の世界(視野)が広がった気がします。」
- ・「出演という形で参加したおかげで、フェスティバル自体が近く感じました。」
- ・「はじめは手話で説明が間に合わず待ってもらったことが度々であった。中略、今後さらに手話を深める必要性を感じました。」
- ・「短い時間で簡単な事をしただけですが、みんなで協力して1つの事をやり遂げられたのが嬉しかったです。」

○平成16年度 手話通訳者登録試験募集
(手話協力員試験)

- ・日 時 平成16年12月4日(土)
- ・内 容 筆記、実技及び面接
- ・申込切 11月4日まで

○平成16年度 手話通訳認定者試験募集

- ・日 時 平成17年2月6日(日)
- ・内 容 小論文、筆記、実技
- ・申 込 10月20日~11月20日まで

※受験資格、受験申込等に関する詳細なお問い合わせは聴覚障害者センターまで

**湖北地域聴覚障害者
ビデオライブラリー
利用日のお知らせ**

今年5月にオープンして以来、利用日が毎週金曜日のみだったのが、毎週月曜日にも拡大！
利用時間は 午前9時から 午後5時

連絡先
湖北地域振興局地域健康福祉部
長浜市平方町1152-2
TEL 0749-65-6660
FAX 0749-63-2989

携帯電話等によるメール一八九番
緊急通報の運用開始

湖南広域行政組合消防本部(草津、栗東、守山、野洲)では、湖南地域に住む聴覚または音声・言語機能に障害のある方々が火災・救急等の緊急通報を行う手段として、今年の四月二〇日から一八九番ダイヤルによるFAX通報受信を開始されましたが、外出先での通報手段がなく、また付近に人がいない場合には緊急時の通報が発信できない状況でありました。このような状況の中、近年の携帯電話等の普及により、聴覚障害者等の方々の間でも日常的に電子メールを活用されていることから、十月一日より緊急通報のバリアフリー化として携帯電話等による電子メールでの一八九番緊急通報受信体制の整備がはかられました。なお、このシステムを利用するには事前に登録が必要となります。

●問い合わせ
湖南広域行政組合消防本部
災害管制センター
FAX 077-522-5050
TEL 077-522-8119

障害者福祉を権利として

確立するために

「障害者権利条約」制定に向けての国際セミナー開催

「障害者権利条約」制定に向けての国際セミナーが、8月9日 全国手話研修センター コミュニティ 嵯峨野で開催されました。このセミナーは、現在国連特別委員会にて史上初めて障害当事者等（NGO 団体）が参加して審議されている「障害者権利条約」について障害当事者の声をさらに組み込む為に、障害者当事者・福祉関係者を始め政府・民間を問わず国民的レベルで理解を深め、その意義を普及し、国民的支持を得ることを目的として開催されたものです。西日本地域における開催は初めてで、230名が参加。各分野の専門家の講演やパネルディスカッションが行われ、今までの取り組みの総括と課題整理が行われました。

現在国連専門委員会では、これまで過去3回NGO団体が出席して当事者の声を組み込みながら検討を進められていますが、①障害者の定義、②条約の一般的原則及び締結国の一般的義務、③教育、④雇用、⑤強制収容／入院、⑥

国際協力、⑦モニタリングなどをどのように条約に組み込むかが課題となっています。また「障害者権利条約」の制定の意義としては、国内的には「安心・安定・安全」の地域社会の形成の為、国際法に批准すれば憲法と一般法の間ぐらいの効力が得られること。国際的な視点では、国際法が制定されると各国のバラツキが整理され、障害者施策の底上げができるなど 障害者に関する国際条約が制定されていない現状を踏まえ意義が語られました。

最後に今後の課題として、改めて障害者自身が自分たちの経験を問い直し、障害者種別ごとでは無く障害者共通の課題としてまとめ上げていくことが必要であることや、それを障害者団体や障害者や健常者という枠を超えて、国民全体の人権意識を高めて取り組んでいくことが「障害者権利条約」制定においては有効であることが語られ、セミナーは締めくくられました。

聴覚障害者日曜教室事業

7月24日(土) 米原町中央公民館で聴覚障害者センター主催日曜教室事業を実施しました。まず、湖北地域振興局の保健士さんによる血圧測定など参加者の健康チェックを行いました。その後調理室に移り昼食作り。ふくろう(手話ができるホームヘルパー等のグループ)メンバーに協力していただき、酔の物やお吸い物、おにぎりを参加者みんなで楽しく作りました。

それぞれの手作りのおにぎりは大きさや形もいろいろ。ワイワイと和やかな雰囲気の中、おしゃべりをしながらおいしく頂きました。

午後は、湖東地域振興局の歯科衛生士さんによる「歯について」の学習会。最初に参加者それぞれが手鏡を持ち自分の歯をチェックしました。手話通訳と要約筆記の情報保障のある中、大きな歯の模型を使いながら健康と歯の関係、歯周病の症状と予防、歯の磨き方などを学びました。

湖北地域生活支援センターや湖北ろうあ協会の協力も得て、聴覚障害者の豊かな暮らしをめざし関係機関が連携した事業ができました。



湖西地域

9月25日(土)、新旭町の高嶋地域産産振興センターにて、「聞こえの相談」出張相談と日曜教室（聞こえのサロン）を同時開催しました。

午前は「聞こえの相談」では、聴力検査や専門家による個別の相談を行いました。14名の参加がありました。

午後は、難聴協会の方々により「よりよいコミュニケーションのために」と題してミニ講演をお願いしました。補聴器の正しい使い方や各種の補聴補助機器についての説明。また、同じ障害を持つ当事者として悩みや家族や職場でのコミュニケーションについてお話ししていただきました。「聞えない、聞えにくいということを自ら周りに訴える勇氣が必要。」とお話になり、参加者はうなづきながら熱心に聞き入っていました。

参加者の中にはご本人だけではなく家族と一緒に来られた方、また家族だけが来られた方もありました。加齢や何らかの理由により聞えにくくなり、生活の中でいろいろな困難や悩みを抱えている人たちは各地域にたくさんおられます。今後とも必要な情報提供や支援を広げていきたいと思っております。



湖北地域

手話通訳事業が一般財源化?

「三位一体改革」の国庫補助負担金の

廃止対象リストに

介護保険制度と支援費制度の「統合問題」に続き、今度は、手話通訳設置や通訳派遣など手話通訳事業の主な財源である国庫補助金の廃止・削減の動きが急浮上してきています

今年8月24日、全国知事会などの地方六団体は、国庫補助負担金の一般財源化を求める「国庫補助負担金等に関する改革案」を政府に提出しました。この「改革案」は、政府が進める「三位一体改革」(注1)に関連して、平成17・18年度の2年間に概ね3兆円程度の税源移譲を地方に行う前提として、国庫補助負担金の削減対象リストとして作成されたものです。

対象は各省庁にまたがっていますが社会保険関連がその内の3割(45事業)を占めており、手話通訳設置や通訳派遣をメニュー事業とする「障害者社会参加総合推進事業」や情報提供施設運営費、社会福祉施設整備費などがリストに挙げられています。

ご承知のように、手話通訳事業は国庫補助金という「特定財源」で賄われてきたため事業の財源裏付けがあり県や市町村も取り組みやすい条件がありました。一般財源化になれば、事業の実施が市町村の自由な裁量に任されることで、事業を充実させる可能性も生まれますが、地域格差の一層の拡大や事業の縮小、廃止に繋がりにかねない問題を抱えています。聴覚障害者のコミュニケーションや地域生活の支援の為に、全ての市町村が

手話通訳事業を実施し、聴覚障害者への支援を行う体制を整備することが求められており、事業の実施や一層の充実に向けていくことがとても大切となつてきています。

この「改革案」に対して、小泉首相は「05年度予算にできるだけ生かす」と表明し、早速、協議機関を設けて検討を開始しました。今後、年末の予算編成に向けた動きに目が離せない状況となつていきます。

(注1) 「三位一体改革」 「三位」とは、国庫補助負担金の廃止・削減、地方への税源移譲を含む税源配分の見直し、地方交付税の見直しの三つで、これを「一体」にして行うというもの。

手話について学ぶ

手話講習会開催

7月3日 聴覚障害者センター

県の事業として手話講習会を実施しています。この事業は聴覚障害者のコミュニケーションを支援し、社会参加を促進する為に、聴覚障害者自身が手話等について学習することを目的に開催しています。

今年度1回目は財団法人全日本ろうあ連盟常任理事高田英一氏を講師に迎え、「聴覚障害者と手話」というテーマで約50名が共に学習しました。

手話は音声日本語を動作化したものではなく、また身振りとも異なり、独自の文法があり、日本語と同等の力をもった言語です。しかし、手話の言語認識はなかなかされず、言語差別の中で身分差別や障害者差別が拡大されてきました。平等な言語として手話を広めることによって、社会での手話の見方も変わってきます。ろうあ者が社会に合わせる努力をするのではなく、社会を変えていくことの必要性もだされました。

参加者は、「手話」とは何か学び、あらためて手話の大切さを感じました。

第8回聴覚障害者の社会的自立を考えるセミナー

日時:平成16年11月7日(日) 12:30~16:00(受付12時~)
会場:平安女学院大学 メディアホール(守山市)

夢を形に...ろう重複障害者の暮らしと願い

講演
「手話との出逢いから『たましろの郷』へ」

ろう重複障害者とは、耳が聞こえないうえに、知的障害や身体性などをあわせ持っている人たちのことです。手話の習得も難しい人が多く、障害特性を考えた生活の場や、就労の場が必要なのですが、全国的に見ても、そうした施設はごくわずかしかありません。

2002年1月、東京で初めての、ろう重複障害者就労施設「たましろの郷」が、運営を開始しました。「ろう重複障害者」者を持つ「金」が中心となり、およそ10年の月日をかけて、募金活動をしながら準備を進めてきたのです。

場所は東京都府中市、現在29人がここで暮らしながら、パンや陶芸、絵画、清掃、農作業などを行っています。就労について施設長の花田さんは「できないと決めつけないこと」「失敗は可能性への貯蓄」と考え、常に新しい仕事へのチャレンジを続けています。

パネルディスカッション

パネラー:ろう重複障害者生活就労施設「たましろの郷」所長 花田 克彦氏
「みみの里」づくりをすすめる会、聴覚障害者 他

主催:社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会
協賛:財団法人 郵政互助会

問い合わせ・参加申込 TEL077-561-6111・6133 FAX 077-565-6101
www.shgajou.or.jp



新しいビデオが入りました

平成16年度 第1回新作ビデオリスト字幕ライブラリー共同事業前期分 (平成16年10月)

<ul style="list-style-type: none"> ○世界遺産 ・グラナダのアルハンブラ宮殿 ヘナリーフェ離宮 アルバイシ 地区 スペイン ・ポロブドゥール寺院遺跡群インドネシア ○金曜エンタテイメント 江角マキコ 遥かなる氷河と太古の森と ～アラスカそしてカナダクィーンシヤ ロット島への旅～ ○くらしと経済 女性のライフプラン 住まいを守る防犯の値段 ○NHKスペシャル ・21世紀日本の課題 首都激震 直下型地震に東京は耐えられるか ・その時私は母の胎内にいた ～長崎・原爆学級～ ○サイエンスミステリーそれは運命か奇跡か ～DNAが解き明かす人間の真実と愛～ ○ザ・ノンフィクション 5万年前の母を求めて ～にほんじんがうしないつあるもの～ ○被爆58周年 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典「平和への誓い」 山崎榮子さん ○スーパーテレビ情報最前線 母さんは五体不満足奇跡の子育て奮闘記 ○NNNDキュメント'03 突然手足を失って……雄太19歳 ○SBCスペシャル 音を打て！音をつかめ！～松岡野球部・柳原将太の挑戦～ ○こどもの日ドラマスペシャル シンシア～介助犬誕生ものがたり～ ○金曜エンタテイメント おふくろシリーズ第18弾続・おふくろのお節介 ○その時歴史が動いたスペシャル そして日本はよみがえった ～混迷を打ち破ったヒーローたち ○プロジェクトX 挑戦者たち ・耳を澄ませ 赤ちゃんの声～伝説のパルモア病院誕生～ ・絶体絶命 650人決死の脱出劇～土石流と闘った8時間～ ○にげんぐみドキュメント 生涯～エンジニア ～ノーベル化学賞・田中耕一さん～ ○スーパースペシャル2003 ニッポンのお母ちゃん名物お母ちゃん大集合爆笑秘新作&傑作選 ○スーパーテレビ情報最前線 ・特別版 7男3女！12人岸さん一家子育て日記 ・不妊・流産を乗り越えて・・・西村知美 涙の出産 ○ゴールデンシアター特別企画 世界がもし100人の村だったら ○SMAP×SMAP 特別編 僕とあなたの生きる道 ～ONE DAY～ ○2003 平成教育委員会 夏休みスペシャル 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生日記 地産人伝説(全四回) ○月曜ドラマシリーズ 盲導犬クイールの一生 第1回(連続7回) ○WATER BOYS(全11回) ○日本テレビ開局50年記念ドラマスペシャル 天国のディスクへ 箱根駅伝が結んだ絆 ○シヨムニ FORVER ○27時間テレビ スペシャルドラマ 海のオルゴール ○ゴールデンシアター特別企画 白線流し 二十五歳 ○愛と感動の特別企画ドラマ フジ子・ヘミングの軌跡 ○NHKアーカイブススペシャル 松本清張シリーズ ・天城越え ・火の記憶 ・最後の自画像 ○金賢姫 大韓航空機爆破事件 北朝鮮のシナリオ ○金曜エンタテイメント 日韓合作ドラマスペシャル ソナギ 雨上がりの殺意 ○疑惑 ○ためしてガッテン あきらめるのは損！花粉症スッキリ解消法～リンパで健康3～ ○ふしぎいっぱい ・虫のくらし ・虫のからだ ○ひとりできるもん！ ・どきどきキッチンワザあり！アイデア・オードブル ・どきどきキッチンさらさら～とろ～り！ あかとみどりのパー ・どきどきキッチンキラキラツリーのスペシャルバーグ ○こどもにんぎょう劇場 ・きつねとごんべえ(日本語話) ・三枚のお札(日本語話) ・イソップときつね ○それいけ！アンパンマン ・ナガネギマンとおくらちゃんクリームパンダとたのしい夏まつり ・ポッカリ島のしんじゅ姫 ○ルパン三世 お宝返却大作戦！！ ○トリビアの泉 ～素晴らしきムダ知識～ ○発掘！あるある大事典 スタイルと健康を改善する内臓脂肪対策を大公開！ ○世界ウルルン滞在記？時間再会スペシャル 夏のシベリア！トナカイの遊牧民に…
--	--

字幕ビデオライブラリー普及事業番組一覧

<ul style="list-style-type: none"> ○釣りバカ日誌14 ○老後の金は渡さん！お年寄りを狙う悪質商法にご用心 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通事故！もしかすると、あなたも加害者に？～問われる責任と賠償～ ○アリトキリギリスの！！多重債務にご用心
--	---

上半期ビデオ貸出件数・本数

(4月から9月)

センターライブラリー	116件	265本
湖北ビデオライブラリー	67件	177本

センターだより

最近のスポーツ界は例年にない楽しい話題が豊富といえよう。オリンピック選手のメダルラッシュ、プロ野球選手会の奮闘、パラリンピック選手の大活躍、イチローの安打世界一など、ほとんど20～30代の若者だ。来年1月にオーストラリアで行われるデフリンピック(ろう者のオリンピック)があり、滋賀から出場はないけど成蹊スポーツ大学からろう青年がバスケット選手として出場するそうだ。滋賀県立ろう話学校出身の大学生(現在、筑波在住)も次回のデフリンピックにハンマー投げに出場すれば、恐らく金メダルを獲得するだろう。和歌山ろう学校高校生11人によるダンス・グループが日テレ24時間番組『愛は地球を救う』に出演、全国の視聴者から感動したなどFAXやメール、手紙が殺到したと聞く。

こんな頼もしい青年がいっぱいいる。一方、社会参加したくても出られない聴障青年たちもいっぱいだ。このような青年たちの働く場・仲間の場をどう確保していくか大事な課題。全体的に運動が進められている身体障害者通所授産施設「びわこみみの里」の早期実現をめざしたいものだ。(F・I)